

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年10月26日

事業所名：放課後等デイサービス事業 エントランス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に応じたスペースを確保している 体を使った遊びをする時は近くの公園にて実施	・体を使った遊びができる空間があるといいなあと 思います (はい34、どちらともいえない6、いいえ0、 わからない3)	現状を維持する
	2 職員の適切な配置	スタッフ1名につき利用者2～3名の支援体制 スタッフ11名(正社員3名、非常勤スタッフ8 名)	・現在の職員数がわからない ・心理士さんがいるといいなあと 思います (はい34、どちらともいえない3、いいえ0、わからない6)	心理士の採用はむずかしいが、引き続き適 正な配置を継続する
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情 報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応 じた設備整備	・賃貸物件なのでバリアフリー化の工事は難 しい、所内は可能な限り障害の特性に応じ た環境作りを心掛けている	・子どもの活動スペースを見る機会が送り迎えの時にド アからだけなので奥の方がどうなっているかわからない (はい35、どちらともいえない1、いいえ0、わからない7)	子どもの活動の様子の見学はいつでも可能 なので随時受け付けていることをお伝えする
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合 わせた生活空間の確保	1日1回共有スペースの清掃	・窓が少なく暗く感じる閉鎖的な感じ (はい36、どちらともいえない3、いいえ1、わからない3)	壁面に子供たちの作品を飾るなど、室内を 明るい雰囲気づくりを心掛ける
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月1回正社員MTを実施し、各担当業務の進 捗を報告、共有	/	引き続きスタッフ間で情報を共有する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の 実施	・外部の評価は現時点では実施なし	/	外部による評価を実施するかスタッフ内で検 討する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確 保	社内の研修会及び、外部の研修会に適時参 加している	/	今後も研修参加の機会を設ける
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上での児童 発達支援計画又は放課後等デイサービス計画 の作成	本人、家族のニーズを確認、スタッフ間で検 討、支援計画に反映	・的確かつ丁寧に計画を立てていただいています。 (はい41、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1)	今後も継続する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活 動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放 課後等デイサービス計画の作成	個別の活動(学習等)に関する目標と、集団活動 (コミュニケーション等)に関する目標を設定した支 援計画を作成	(はい41、どちらともいえない1、いいえ0、わからない3)	今後も個々の状況に応じた支援計画を作成 する
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス 計画における子どもの支援に必要な項目の設 定及び具体的な支援内容の記載	個別の活動と集団の活動、それぞれの目標 に対しての支援内容を記載	/	使用する教材、支援内容を具体的に支援計 画に記載する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画は主にその子供を担当するスタッフが確認できるように個人ファイルにはファイリング。また担当するスタッフを2~3名で固定し統一した支援ができるようにしている	・支援のおかげで成長がみられることが嬉しいです(はい39、どちらともいえない1、いいえ0、わからない3)	引き続き維持をする
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	正社員MTで内容を検討 検討した内容を非常勤を含めたスタッフ全員に周知		今後も継続する
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご利用家族からの相談があった時には、適時対応		今後も継続する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	夏休みなどの長期休暇は別途、企画を準備。クリスマスなどの季節を感じる行事は内容を検討して実施	・季節、行事にあわせてプログラムされていると思います(はい36、どちらともいえない3、いいえ0、わからない4)	今後も継続する
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日利用の子どもの申し送りや送迎車両が到着する時間などをミーティングで確認		今後も継続する
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	子どもが帰宅後にミーティングを実施し、その日の特記事項、家族からの要望、連絡帳のコメントを共有		今後も継続する
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	正社員のみで前日の振り返りと1週間前の様子と当日の注意事項を共有 非常勤スタッフを含めた全体ミーティング前に、共有する内容を確認する		今後も継続する
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	9月末と3月末にモニタリングと計画の見直し、モニタリングの為に会議を実施		今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	児童発達支援管理責任者が参加 必要に応じて主として担当をしているスタッフを加えて参加		引き続き積極的に参加する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	今までに相談支援事業所等からの依頼なかったため、実施していない また必要と思われるお子さんの利用もなく必要性がなかった		必要に応じて対応をする
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要とするお子様の利用がなかったので、現在までで情報を提供した実績はなし		情報提供について、対象の家族に対して可能であることを周知する
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市内の事業所連絡会に参加 支援センター主催の研修会は非常勤を含め全員が参加できるように社内に掲示 必要に応じてスタッフを指名し参加を促す		今後も継続する
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	望んでいない家族も一定数いるため活動の計画はしていない	・通常学級に所属しながらエントランスで支援していただいているので、特に交流の機会がなくても構いません ・交流する必要はない・交流してほしくない (はい4、どちらともいえない8、いいえ4、わからない26) 回答無し1名	家族の意見を聞き検討をする
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所として企画した行事はないが、法人内の別事業所が企画したイベントに参加 地域商店会に協力をしていただいた 地域の小学校校区のスポーツ21のイベント(餅つき大会)に継続して参加		今後も地域のイベントには積極的に参加する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書に記載 希望の方には別途説明	・負担金についてはいつも聞いていない(はい40、どちらともいえない1、いいえ1、わからない1)	代理受領額通知書と請求書を毎月お配りしているが、ご希望があれば別途説明をする
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談の時に支援内容を説明	(はい43、どちらともいえない6、いいえ0、わからない0)	今後も継続する
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在まで企画、実施等は無し	(はい15、どちらともいえない11、いいえ4、わからない13)	事業所内で実施が可能か検討をする
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎で家族が来所された時、様子をお伝えしているとともに、家族からの要望も確認	・お伝えした希望を理解してくださって支援していただいていると感じています(はい38、どちらともいえない3、いいえ0、わからない1、回答無し1)	今後も継続する
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	家族からの相談に対して個別に対応 必要に応じて定期的に面談を実施している家族もあり	・日々やこの先のことで心配なことはありますが、温かい気持ちになります。子どもの良いところできるようになったところを見て支えて頂けて感謝をしています ・STや専門的な意見をもらいたい(はい33、どちらともいえない6、いいえ1、わからない2、回答無し1)	STの採用予定はないが、事業所のできる範囲での家族支援を継続する
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会、保護者会なし	・保護者会に参加していない(はい8、どちらともいえない9、いいえ7、わからない19、回答無し1)	保護者会が設立された時は、連携協力をする
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	事業所内に苦情受付窓口をを設置 苦情を受け付けた際は、運営規定にのっとり対応する(現時点で苦情受付件数0件)	(はい21、どちらともいえない3、いいえ0、わからない17、回答無し1)	苦情があった時は真摯に対応をするとともに、苦情受付窓口があることを周知をする
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	その子どもに応じて、オリジナルの意思伝達カードや、PECSを使用	(はい39、どちらともいえない1、いいえ0、わからない1、回答無し2)	今後も継続する
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	日曜教室だよりを発行(毎月) 避難訓練や長期休暇中のイベントについてはその都度プリントにてお知らせ HPIにも活動を報告	(はい27、どちらともいえない1、いいえ2、わからない12、回答無し1)	HPを更新した時に家族にも更新したことをお知らせする HPからではあるが日々の事業所の様子を知っていただく機会を作る
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	ご利用のお子様については、個人情報使用に関する同意書を保護者取り交わしている 社員には秘密保持に関する誓約書を入社時に取り交わしている	・信頼しています(はい35、どちらともいえない1、いいえ0、わからない12、回答無し6)	今後も継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアル(感染症、危機管理)を作成し運用中。警報発令時の対応については子供用の連絡帳にプリントを添付	(はい34、どちらともいえない5、いいえ1、わからない2、回答無し1)	引き続き周知徹底をする
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練(うち1回は総合訓練)と1月にシェイクアウト訓練を実施予定 保護者とは防災用のメール訓練を年1回実施	(はい34、どちらともいえない5、いいえ1、わからない2、回答無し1)	年3回の訓練を継続する
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	社内での研修会、事業所内での勉強会を実施 虐待防止・虐待時対応マニュアルを作成、運用中		マニュアルの改訂をしながら今後も研修会等を実施する
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	今年度の支援計画より身体拘束に関する内容を追加 現時点で必要とする子どものご利用はなし		今後も身体拘束をしない
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	支援計画にアレルギーに関する対応についての項目を追加し、家族にも確認をいただいている		今後も継続する
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットは法人内の児発管で毎月共有 大きな事例の場合は事業所内の会議でスタッフに共有		今後も法人内の事業所の事例を事業所内で共有をする